

令和六年二月二十三日 信者心の基勉強会 健康編

神 示

今日^{いま} 人類は 社会を支え 導く存在^{ちから}を求めている
なれど その姿が 皆目見えずに

世界は迷いを深め 混沌^{こんとん}としている

今日^{いま}を生きる社会の姿に 希望が持てない

信者に申す

「教え」で関わる家庭を築く 努力をするべし

自然と心は安定し

感謝の思いが 「人生」の迷いを消してゆく

成すべきことは

奉仕の心を知って 出会いを生かす心を欠かない

気持ちは 明るく 強く 人々^{ひと}に関わる思いが深まってゆく

この時に 人間は 真の健康を手にてきる

なぜ 今日^{いま}を生きる人々^{ひと}は 病に苦しみ 人生に迷うのか

心閉ざし 「人生」に希望が持てない

この心の姿が 健康を遠ざける

人間は 「人生の真理」を悟り 「道」を守っていれば

「運命」の力が引き出され

社会を支え 導く存在^{ひと}になれる

「運命」で関わり 支え合うことで

社会も 人間^{ひと}も 健康に成って行く